

平成28年第1回定例会

一般質問通告書（質問事項要旨）

平成28年 3月17日
3月18日（3日間）
3月22日

南風原町議会

目次（一般質問日程表）

順番	議席番号	氏名	頁	質問日
1	15番議員	大城真孝	2	3月17日（木）
2	6番議員	赤嶺奈津江	3	
3	3番議員	大城勝	5	
4	1番議員	知念富信	7	
5	5番議員	照屋仁士	9	
6	14番議員	金城好春	11	3月18日（金）
7	11番議員	宮城寛諄	13	
8	9番議員	赤嶺雅和	15	
9	4番議員	大宜見洋文	16	
10	10番議員	大城毅	18	
11	13番議員	玉城勇	20	3月22日（火）
12	12番議員	上原喜代子	21	
13	8番議員	花城清文	22	
14	7番議員	浦崎みゆき	24	

平成28年3月10日作成

□ 大城真孝 議員

1. 津嘉山区画整理地内の県道128号線の移管について

【 町長 】

(1) 津嘉山北土地区画整理地内の県道128号線(南星中学校前～国道507号につなぐ道)を町道に移管するという話を聞いたが、移管の話はいつごろあったのか。同様の事例が他にもあるのか。

2. 津嘉山の雨水幹線について

【 町長 】

(1) 県道128号線内の津嘉山雨水幹線整備の範囲はどこまで予定しているか。

3. 津嘉山公園について

【 町長 】

(1) 那覇空港滑走路工事への残土受け入れが平成28年6月から予定されているが、津嘉山公園の完成予定はいつか。

□ 赤嶺奈津江 議員

1. こども医療費の現物給付方式導入を

【 町長 】

(1) 平成26年4月1日より、こども医療費助成制度が通院分も中学生まで拡充された。保護者からとても喜ばれている。しかし、いったん窓口支払いがあるので、窓口での支払いをしなくて済むようにはできないかとの声がある。子どもの貧困対策としても、ぜひ受診時に支払いしなくても済む「現物給付方式」の導入ができないか。

2. 子どもたちの居場所づくりについて

【 町長・教育委員長 】

(1) 平成26年第4回(12月)定例会の一般質問で、子どもの居場所づくりについて質問した。地域に合わせて町と各自治会、校区が協働で子どもの居場所づくり事業が行えないかという質問である。「教育委員会と放課後子ども総合プランについて意見交換をしているので、そのなかで児童の安全・安心な居場所の確保に向けて議論する」と答弁があった。現在、子どもの貧困対策、子ども子育て支援で、多くの事業が検討されていると思うが、現在の状況はどうか。

(2) 子どもたちの居場所づくりとして、児童館や放課後子ども教室など環境は整備されているが、学校から遠い地域の子供達にとっては自宅近くでの居場所づくりも必要となる。そこで、各自治会における居場所づくりができないか。

(3) 各自治会や関係団体へ子どもの居場所づくりについてメニュー提案を行うため、町と自治会等が協働で行う事業を検討する担当を置いてはどうか。その中で自治会支援(各種団体含む)も併せて行うことはできないか。

(赤嶺奈津江議員 一般質問)

3. 社協等への業務委託等について

【 町長 】

(1) 南風原町社会福祉協議会への業務委託が以前よりかなり増えてきている。旧社会福祉センターから現在のちむぐる館に移転してから現在までの職員数(正規・臨時・嘱託数)はどうなっているか。

(2) 業務委託が多くなる中で、人員も増加が必要と思うが、社協が使用している事務所は、手狭になっていると考える。保健福祉課(健康づくり班)を本庁舎に戻してはどうか。

(3) 業務委託や新しい事業等により、定期的に庁舎内の各課の配置等や新たな外部委託などを検討することはあるか。

(4) 事業計画等のP D C Aを行っていると思うが、部署の新設や各課の配置、外部委託なども、同じように行ってはどうか。

4. 町職員採用条件について

【 町長 】

(1) 他の自治体(他県、市町村等)で、職員採用において、年齢条件撤廃や年齢条件の上限を上げている自治体が増えてきている。当町においても、社会人経験枠等で年齢条件を撤廃した採用枠をつくり、即戦力として活用してはどうか。

(2) 臨時職員や嘱託職員は、年齢条件を撤廃することで正規職員としての採用へのチャンスが多くなるのではないか。

□ 大城勝 議員

1. 子どもの居場所づくりについて

【 町長・教育委員長 】

(1) 翔南小校区に設置されている本部児童館の自治会ごとの利用者数はどうか。

(2) 子どもの居場所づくりにおいて大事なものは、学校終了時から帰宅までの時間帯をどのように見守ることができるかだと思う。児童館や学童施設を効率よく使えない地域の子どもたちには、どのような対策が打てるか。

2. 消費生活相談について問う

【 町長・教育委員長 】

(1) 消費者トラブルが複雑で多様化しているといわれる中、消費者にとって身近に相談窓口があることがより必要となっていると思う。本町の消費者トラブルに関しての現状はどうか。町行政はどのように認識しているか。

(2) インターネット、携帯電話の普及に伴い小中学生からの相談も増えると考えられるが、それらに対する学校現場での消費者教育はどうなっているか。

(3) 本町にも他自治体と同様な消費生活の相談専門窓口を設置し、相談員を配置できないか。

(大城勝議員 一般質問)

3. 南風原町名人創設事業の継続について

【 町長 】

(1) 町は、ふるさと名人を民泊推進母体としての認識を示している。それゆえ、ふるさと名人への期待度は大きいと考えるが、今後も名人制度創設事業の継続を推進するかどうかを問う。

4. 交差点の路面整備で交通安全寄与を

【 町長 】

(1) 南風原南インター交差点に、青黄色調の路面舗装が施された。町行政から関係機関への尽力があつてのものと評価したい。しかし、進行方向路面に矢印印字がされてない。矢印が塗布できるよう要請できないか。さらなる安心、安全な道路状況につなげてほしい。

(2) イオン南風原店近くの交差点（与那覇交差点）にカラー舗装して交通安全に寄与できないか。

5. 山川交差点周辺を町活性化へ向けて整備を

【 町長 】

(1) 山川交差点周辺は、町の南玄関口の役割を果たし交差点を通過していく中南部からの車両が多い。町活性化の観点からこの交差点周辺をどのように認識しているか。

(2) 南風原南インター交差点の桁下付近に繁茂しているギンネムや雑草を除去し、住民の憩える場所に供することができないか。緑化して遊歩道を作り地域住民に開放し、N A H A マラソンの時期は、応援場所にも最適である。善処策を求むよう要請できないか。

□ 知念富信 議員

1. 中央公民館前道路の早期着工を

【 町長 】

(1) 中央公民館前道路（県道 2 4 1 号線・黄金森公園線）の着工時期は何年度か。

(2) 道路計画の用地取得状況はどうか。

(3) 南部東道路の起点側と新南風原交差点の着工時期は何年度か。南部東道路と中央公民館前道路（県道 2 4 1 号線・黄金森公園線）とは連動した施工時期になっているのか。

2. 役場前道路の進捗状況を問う

【 町長 】

(1) 役場前道路（県道 2 4 1 号線・南風原中央線）の完了年度は何年度か。

(2) 植樹は全路線完了後に植えるのか。

(3) 旧社会福祉センター入口交差点改良工事の着工時期はいつか。

(知念富信議員 一般質問)

3. 黄金森公園に展望台建設を

【 町長 】

(1) 黄金森公園に展望台を設置し観光施設として利用すべきではないか。

(2) 展望台までの斜面にブーゲンビレアの花々を植え、町花を広める事はできないか。

(3) 公園外周の擁壁に町をアピールする看板を設置し、イメージアップする考えはないか。

□ 照屋仁士 議員

1. 18歳選挙権にどう取り組む

【 町長 】

(1) 18歳選挙権が今年の6月19日に施行され、実際に参議院議員選挙から適用される。国や県はどのような準備・取組を進めているか。

(2) 本町での新たに対象となる有権者（18歳～19歳）は何人か。

(3) 本町で進める取組はあるか。

(4) 18歳、19歳の投票率はどのように分析・公開されるか。

(照屋仁議員 一般質問)

2. まち・ひと・しごと創生総合戦略の目指す姿は

【 町長 】

(1)創生総合戦略は人口ビジョンを裏付ける事が目標か。

(2)国の施策は各省庁にまたがり多岐にわたる。これまでの補助事業(国・県)との関係性や違い、補助率などはどうなる。

(3)第五次南風原町総合計画へはどう反映されるか。

□ 金城好春 議員

1. 町の公園を利用する町民のマナーと安全対策について【 町長・教育委員会 】

(1) 都市公園を利用する町民にアンケート調査をしたことはあるか。

(2) 公園内で事故やケガの報告はあるか。

(3) 公園の使用許可をもらって野球の練習や試合をしている時、他の町民がグラウンド内に入って来て遊ぶので大変困ると聞いた。どう対処するか。

(4) 公園を利用する町民へのマナーをどのように周知するか。

(5) 「野球の練習をしている時はグラウンド内に入ることを禁止」など注意喚起のため大きな看板は立てられないか。

(金城好春議員 一般質問)

2. 津嘉山北土地区画整理事業区域内から搬出する良質な土の利用について

【 町長 】

(1) 町道57号線と区画整理事業区域内との境界付近は西側の土地をかき上げた結果、本部後原の一部が窪地になっている。区画整理事業区域内から搬出している良質な土を客土して水平な土地に整備できないか。

(2) 客土を希望する町内に農地がある町民の畑に利用できないか。

3. メタボリックの解消と健康増進について

【 町長 】

(1) 平成27年度特定健診を受診した町民の割合と人数は。その中でメタボリックと診断された町民の割合と人数はどうか。

(2) メタボリックと診断された町民に対しどのような指導をしているか。

(3) 島唄バンド「ザ・スーターズ」の作った歌に「ヨーガりたい」というタイトルの歌がある。メタボリック解消と健康増進に役立てる考えはないか。

(4) 「ヨーガりたい」の歌に踊りを振り付けて健康増進に役立てることはできないか。

□ 宮城寛諄 議員

1. 子どもの貧困対策は

【 町長 】

(1) 子どもの貧困緊急対策事業補助金が25,275千円予算化されているが、次年度以降も継続される事業なのか。

(2) 「子どもたちの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのない、社会を実現する」は「子どもの貧困対策の推進に関する法律」の基本理念である。子ども達が夢や希望を持って成長していける社会をつくる必要がある。そのためには貧困の連鎖を断ち切るべきと思う。どのように考えるか。

(3) (2) で述べた社会を実現するためには雇用の拡大、安定した仕事も必要だと思う。保育園の充実で安心して子どもを預け、仕事することができる環境が課題と思う。どのように思うか。

(4) 新聞報道によると県は、貧困世帯の医療費窓口無料を2016年秋から順次導入としている。しかし、「保護者は病院での支払いを猶予してもらい後日、役場で医療費を借りて支払いする。返還はらない」としているが、対象者だけでも償還払いではなく、窓口支払いゼロにした方が良く思うがどうか。

(宮城寛諄議員 一般質問)

2. ふるさと納税で町産品のPRを

【 町長 】

(1) ふるさと納税を行った方に対しての御礼はどのようなものを利用しているか。

(2) 南風原の特産品など利用しているか。琉球絨や農産物を利用し、PRにつなげてはどうか。

3. 津嘉山交差点の通行について

【 町長 】

(1) 津嘉山交差点部分は県道128号線を通行止めにして工事が行われている。工事終了後は県道128号線は通行可能にするとしているがなぜか。五差路にするのか。

□ 赤嶺雅和 議員

1. 保育士の人材確保について

【 町長 】

(1) 地域限定保育士は受験した自治体で一定期間保育士として働く制度であり、沖縄県でも導入された。沖縄県が行う地域限定保育士受験生のうち町民は何人か。

(2) 地域限定保育士制度等で保育士不足は十分カバーできるか。

2. 待機児童は何人か

【 町長 】

(1) 町の待機児童は何人か。待機児童の解消はいつごろまでに可能か。

3. 子どもの貧困問題について

【 町長・教育委員長 】

(1) 沖縄県は子どもの貧困率が全国平均の2倍と言われているが本町はどうか把握しているか。

□ 大宜見洋文 議員

1. 南風原町観光発信施設基本構想・基本計画策定委員会について 【 町長 】

(1) 委員会の開催状況はどうか。

(2) 観光発信施設の基本構想の概要はどうなっているか。実施計画案の素案はあるか。

2. 県の生産拠点作物として指定を受けたスターフルーツについて 【 町長 】

(1) スターフルーツは県の拠点産地に認定されたが、町のブランド化への課題はあるか。

(2) 間引いた果実の利活用の今後の取組はあるか。

3. 町内事業所の規模拡大への要望や企業誘致への検討は 【 町長 】

(1) 町内事業所の規模拡大への課題は何か。南風原町商工会では、事業拡大の要望があるにもかかわらず、町内での移転先が見つけれないため困っている会員事業所や、町外に転出する事業所も多いと聞いた。その課題について取組はあるか。

(2) 字神里の「太希おきなわ」跡地利用計画はあるか。

4. 生活困窮世帯の子ども支援事業について

【 町長 】

(1) 平成28年度の具体的な支援事業はどうか。

(2) 地域振興券等を活用した南風原町独自の事業の可能性はあるか。

5. 離島・へき地自治体の小中学校と姉妹校締結により交換留学制度を

【 町長・教育委員長 】

(1) 一人親の子育て支援対策として、離島やへき地自治体と小中学校と姉妹都市締結をし、交換留学制度を創設してはどうか。子どもが離島等に留学をしている間に親は就業・就学ができるのではないか。また、離島やへき地の活性化にも貢献できるのではないか。

6. 町内コミュニティFM整備の可能性について

【 町長 】

(1) 過去に、地域の情報発信に役立っていた媒体として「親子ラジオ」があったと聞くが、町内でも運営されていたのか。

(2) 町の情報発信拠点のひとつとして町内コミュニティFM整備してはどうか。

□ 大城毅 議員

1. 「子どもの貧困」対策を問う

【 町長・教育委員長 】

(1) 本町の「子どもの貧困」について実態はどうか把握しているか。調査する計画はあるか。

(2) 県の「子どもの貧困対策推進計画（仮称）」に対応する町の計画を策定し、進める考えはあるか。

(3) 「子どもの貧困は親の貧困に由来する」という観点から次の三点を提案する。

①役場の非正規職員に安易に頼るのではなく、正規職員定員増をはかるべきではないか。また非正規職員に産休・育休制度を設けるべきではないか。

②役場の公共事業発注に際して、正規職員の率、生活可能な賃金が従業員に支払われているかどうか等を評価項目に加える仕組みを導入してはどうか。

③就学援助制度の周知について、改善の余地はないか。またその受給基準の緩和（受けやすくすること）をするべきではないか。

(4) 「子どもの貧困」に対する各部の施策（新規及び拡充）はどうか。

(大城毅議員 一般質問)

2. 待機児童の状況と対策はどうなっているか 【 町長 】

(1) 新年度の保育園の申し込みで入園を断られた子どもの人数はどうか。

(2) 子ども子育て支援事業計画を前倒しして保育園を増やすべきではないか。

3. 南星中学校テニスコートの水はけの悪さは調査・改善すべき 【 町長・教育委員長 】

(1) 南星中学校テニスコートの水はけが悪く練習に支障をきたしているときく。調査の上、改善すべきではないか。

4. バス停への屋根設置を進める取組はどうなっているか 【 町長 】

(1) 当間原バス停への屋根設置の進捗状況はどうなっているか。

(2) 役場前、津嘉山の翔南製糖前、津嘉山交差点のそれぞれ上りのバス停について、県への要請はしているか。

5. 喜屋武の通学路となっている県道改善の進捗状況は 【 町長・教育委員長 】

(1) 県道86号線、照屋交差点から翔南小学校向け約100メートル、喜屋武91番地付近で歩道が途切れている。通学路であり大変危険である。改善を求めているが進捗はどうなっているか。

□ 玉城勇 議員

1. 町内各公園の樹木の剪定について

【 町長・教育委員長 】

(1) 町内の都市公園は、清掃、草刈りが行われ、来園者に喜ばれている。しかし、樹木が成長し園路が湿っているところがある。剪定は樹木を整えるために枝の一部を切り生育を等しくするにも良いといわれる。剪定及び管理状況はどうなっているか。

(2) 剪定を行うことによってロケーションの良さを確保し公園の良さ、心地良さを維持することは、町民に喜びを与えることになる。各公園の管理計画など予算確保はどうなっているか。

2. 農業基盤整備で農業生産量向上を

【 町長 】

(1) 農業所得向上のためには、農業基盤の整備が必要である。農業者から土地改良の要望などで町の計画の検討はないか。

(2) 南風原町の農業生産高、金額はどの程度あるか。

(3) くがに市場開店に向けて野菜生産増産も含め、防虫・防風ネット等の助成をしている。資材費の購入のため農作物被害防止事業補助金で利用者と面積はいくらになっているか。

(4) 宮城土地改良区の隣に与那原町大見武区の土地改良区があるが水の確保に苦慮している。南風原ダムの水が利用できれば生産量が増加できる。与那原町と協議ができないか。

□ 上原喜代子 議員

1. 南風原町育英会育英資金貸与の現状について 【 町長・教育委員長 】

(1) 町育英会の10年間の貸与状況の推移はどうなっているか。

(2) 返済義務に対する見直し等をどう考えるか。

(3) 育英会とは別に新たな制度の創設をし、支援策ができないものか。

2. 子どもの貧困対策について 【 町長・教育委員長 】

(1) 子どもの貧困支援の一つに就労支援が取り上げられているが、義務教育を終えた子ども達の調査はしているか。

(2) 子どもの貧困に対し、本町の特徴として何があるか。

(3) 本町のこれまでの支援策等と今問題視されている子ども貧困等との関連性をどう捉えるのか。また、これまでの支援等に対し再調査の必要はないか。

□ 花城清文 議員

1. プロサッカーチームの受け入れを問う

【 町長・教育委員長 】

(1) プロサッカーチームを誘致するため芝刈り機の購入や人件費等々ある。平成25年度以降の3か年間の経費を明らさせよ。

(2) 町に対する経済効果をどう評価しているか。また、町民にとって何が利益になったか。

(3) 町民から誘致にお金のかけ過ぎと意見がある。それに対しどう思うか。

2. 子ども・子育て支援新制度について問う

【 町長・教育委員長 】

(1) 平成28年度保育園への申し込み数と保育所に入所できなかった待機児童は何人いるか。それに待機児童がゼロになる年はいつか。

(2) 新支援法では、0歳児から2歳児の小規模保育をはじめ地域型保育がある。それらの施設に配置される園児は認可園との差はないか。

(3) 平成28年度の幼稚園への4歳児、5歳児の申し込みは何人か、また入園できない児童はいないかどうか。

(4) 新支援法では3歳児から5歳児まで親が希望すれば幼稚園は受け入れなければならない。その受け入れに対する計画はあるか。

(花城清文議員 一般質問)

3. 広報はえばる合冊版の発行について問う

【 町長 】

(1) 広報はえばるの合冊版は将来においても貴重な資料になる。そこで昭和61年9月以降も発行しているか。議員や行政に係る人に配布してはどうか。

4. 東新川にこれ以上墓を造らせないため規制ができないか

【 町長 】

(1) 東新川の行政懇談会でこれ以上、墓を造らせないため条例を検討すると答弁があった。検討したか。

(2) 学校や住宅の前に墓が造られるのは良くない。その墓を造らせないため規制してほしいがどうか。

□ 浦崎みゆき 議員

1. 子育て政策の充実について

【 町長 】

(1) 昨年3月作成の子ども・子育て支援事業計画は一年が経過したが本町の下記の変化について問う。

①各年度における新規の確保方策（子ども・子育て支援事業計画53ページ）

②待機児童数

③現状と課題

(2) さまざまな子育てニーズに対応するには、情報の提供が求められる。そのような中、東京都世田谷区ではスマートフォンを活用した「せたがや子育て応援アプリ」の提供を行っている。本町にも取り入れることができないか。

(3) さまざまな機関が個々に行なっている妊娠期から子育て期の支援について、ワンストップ拠点(子育て世代包括支援センター)の設置の見解はどうか。

(浦崎みゆき議員 一般質問)

2. 子どもの貧困対策について

【 町長・教育委員長 】

(1) 沖縄県は30億円の「県子どもの貧困対策推進基金」を創設し、使途は市町村の貧困対策を中心に活用するとしている。本町はこの基金をどのように活用する予定か。

(2) 本町の子どもの貧困に対する総合的な対策を推進する意味から行政内部の統括組織が必要と考えるが見解を問う。

3. 防災・減災対策について

【 町長 】

(1) 地域自主防災組織の設立が町長の施政方針に掲げられている。どのような設立を計画しているか。

(2) 要援護者名簿の活用の現状と課題を問う。